

令和5年度地域振興基金を活用した区民活動助成制度の審査結果について

1. 目的

品川区地域振興基金を活用し、区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体を対象に、地域の課題や社会的課題の解決に向けた事業に資金助成を行い、多様な公益活動の活性化を目指すとともに、活動団体の育成を図る。

2. 事業概要

区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体が実施する事業に対し、資金助成を行う。

3. 申請

(1) スケジュール

説明会	令和5年4月11日(火)
事前相談	令和5年4月17日(月)～4月27日(木)
申請書類提出	事前相談終了後～4月28日(金)
第1次審査会(書類審査)	令和5年5月26日(金)
第2次審査会(面接審査)	令和5年6月19日(月)

※トライ助成(継続申請)については、令和5年2月に申請書類の受付をし、3月に書面審査を行った。

(2) 助成金の種類

- ① チャレンジ助成(品川区内において活動の継続・発展を支援する)
- ② スタートアップ助成(品川区内において活動の立ち上げを支援する)
- ③ トライ助成(区が提示するテーマおよび要件を満たす事業による区政への参画促進)

(3) 助成期間

【チャレンジ助成・スタートアップ助成】…4月1日から翌年2月29日まで

【トライ助成】…9月1日から翌年3月31日まで

※トライ助成(継続申請)については、4月1日から翌年3月31日まで

(4) 申請できる団体

- ① 品川区内において公益活動を目的として活動している団体(NPO法人、ボランティア団体等)であること。
- ② スタートアップ助成については、団体設立からおおむね5年以内であること。
- ③ 区民活動情報サイト(しながわすまいるネット)に登録している団体であること。
- ④ 品川区に主たる事務所または活動拠点を有すること。
- ⑤ 5人以上で構成されていること。
- ⑥ 団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)が定められており、なおかつ、会計処理が適正に行われており、内容を提示できること。
- ⑦ 団体構成員相互の利益を図ることを目的とする団体(趣味サークル等)ではないこと。

(5) 対象となる事業

【チャレンジ助成・スタートアップ助成】

- ① 品川区の地域課題や社会的課題解決のために取り組んでいる事業であること。
- ② 品川区の地域づくりを目的とした事業であること。
- ③ 品川区民の福祉等の向上に寄与する事業であること。
- ④ 同一事業について、他の制度による助成を受けていないこと。
- ⑤ 同一事業について、令和2年度以前に本制度による助成を受けていないこと。

【トライ助成】

- ① 地域課題や社会的課題解決のために取り組む事業で、区が提示するテーマに取り組んでいる事業であること。
- ② 同一事業について、他の制度による助成を受けていないこと。

[令和5年度募集テーマ]

ヤングケアラー支援への取り組み

⇒本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども（ヤングケアラー）が相談できる環境の整備や認知度向上についての取り組みを行う事業

4. 審査方法

「地域振興基金活用推進会議」（審査会）による書類審査、面接審査を経て決定。

(1) 審査委員：7名（学識経験委員1名、有識者委員2名、公募委員2名、区職員2名）

(2) 審査基準：申請事業の内容、金額について次の基準で審査を行う。

- ① 事業の目的が明確であるか、具体的に示されているか
- ② 地域ニーズや地域課題、社会的課題を具体的に把握し示されているか
- ③ 多くの区民にとって有益な、公益性のある事業目的となっているか
- ④ 事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか
- ⑤ 実施体制や責任体制が明確であり、実施内容と組織体制が整合しており、継続的な事業実施が期待できるか
- ⑥ スケジュールが具体的で、実施可能な計画になっているか
- ⑦ 事業目的に合致し、成果が具体的に（数値、指標、状態など）示されているか
- ⑧ 事業を遂行することにより、団体の自立・成長・能力向上が期待できるか
- ⑨ 実現可能性の高い予算で収支のバランスがとれ費用の用途は事業目的に対し妥当か
- ⑩ 積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか

5. 助成金額について

(1) 助成の種類

助成金の種類	助成金額
チャレンジ助成	助成対象額の3分の2以内で上限50万円
スタートアップ助成	助成対象額の4分の3以内で上限30万円
トライ助成	助成対象額の10分の10以内で上限250万円

(2) 対象経費 謝礼、消耗品費、印刷費、使用料、人件費等

6. 予算 8,000千円

7. 審査結果

選定事業：7事業（申請：7事業）

…チャレンジ助成1事業、スタートアップ助成4事業、トライ助成2事業

	事業名	申請団体	助成額 (総事業費)
1	【チャレンジ助成 2年目】 しながわアレルギーネットワーク	(特非)アレルギーの正しい理解をサポートするみんなの会 (理事長：前田 えり)	164,000 円 (291,019 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 適切なアレルギー情報を共有できるネットワークを作り、アレルギー患者のQOL（生活の質）向上に寄与する。</p> <p>② 採択1年目で構築したアレルギー情報ウェブサイトを活用し、今年度は食物アレルギー対応の外食店舗等の情報を、専門医の監修も受け提供する。アレルギー情報を共有し支えあうネットワークづくりを目指す。</p> <p>③ 適切なアレルギー情報を発信しネットワークを作ることで、出生前から成人まで全ての人のQOL（生活の質）向上に寄与する。</p>			
2	【スタートアップ助成 1年目】 多胎プレパママ教室	しながわ区多胎育児応援団ひだまり (代表：秋谷 恵美)	110,000 円 (159,081 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 多胎児妊娠、出産、育児における女性の孤立を防ぐため、多胎児育児に関する家族の理解の醸成、情報の提供を行う。</p> <p>② 多胎児妊婦とパートナーを対象に、プレパママ教室を開催。助産師による医学的に正しい助言、多胎育児生活を見据えたアフターバースプランを作成する。</p> <p>③ 出産前に情報を得ることで、家族と協力して出産・育児を行うきっかけを生み出す。</p>			
3	【スタートアップ助成 1年目】 みんなはどうしているの？～膠原病の交流会	(特非) 膠原病・リウマチ・血管炎サポートネットワーク (代表理事：大河内 範子)	111,000 円 (148,322 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 膠原病関連疾患は希少疾患のため、他の患者と出会う機会が少なく孤独感を持ちながら生活している。患者同士やその家族が安心して交流できる場を提供する。</p> <p>② 患者同士で体験を語り合い、客観的でより正しい情報を得られる交流会を行う。</p> <p>③ 患者や家族の孤独感や不安感を軽減させ、症状のコントロールを高める。</p>			
4	【スタートアップ助成 2年目】 生活困窮世帯の中高校生への学習支援事業	(特非) マナビファクトリー (理事長：石井 光生)	300,000 円 (454,448 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
<p>① 経済的に困難を抱える家庭の子どもが十分な学力を習得できるよう、学習支援事業を行う。</p> <p>② 高校・大学進学を希望する生活困窮世帯の中高校生を対象に、週1回無料の学習支援と年2回の進路相談を実施。</p> <p>③ 参加する生徒の学力向上・志望校への進学により、これからの社会を担う若者の人材育成に寄与する。</p>			

5	【スタートアップ助成 3年目】 すまいるキッズプログラム	すまいるキッズ (会長：西村 公児)	202,000 円 (336,513 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① GIGA スクール構想下においての、プログラミング教育による小学生の ICT 支援。 ② 小学生と保護者を対象にプログラミング教室を開催。オリジナルのゲーム作成に加え、新たに SDGs・社会課題を学び解決策を考え、理想の街をプログラミングで作成発表するプログラムを実施。 ③ ICT についての関心が高まり、プログラムを通して自分の考えを表現することで、子どもの思考力や表現力の向上をめざす。			
6	【トライ助成 1年目】 テーマ：ヤングケアラー支援への取り組み ヤングケアラーの理解と支援につなぐ「出張授業」等の実施	(一社)子ども若者応援ネットワーク (代表理事：中塚 史行)	900,000 円 (1,002,450 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① ヤングケアラーであることの自覚がなく、置かれた状況の問題点に気づかないケアラーを掘り起こし、適切な支援につなげていく。 ② 区内小中高生向け出張授業の実施、教員・関係機関との懇談会、ヤングケアラーについての普及啓発を行う。 ③ ヤングケアラーに対する理解・認知が高まる。また出張授業により、相談・居場所の利用につながる若者が増える。			
7	【トライ助成 2年目】 R4テーマ：子どもの学習機会保障に向けた取り組み 発達に特性傾向のある親子の健やかな学びと成長を目指した学習サポート事業	(一社)でっこぼっこ (代表理事：駒崎 圭子)	2,500,000 円 (5,063,551 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 学習が困難な子どもが「その子らしく」学習に取り組み成長できるようサポートする。 ② 週1回の学習支援および月1回保護者面談を行い、学習の場と家庭双方での子どもの様子を共有し子育て相談の場を提供する。また、発達特性傾向について学ぶ講演会を2回、保護者の交流会も実施する。 ③ 発達障害・発達特性のある子どもに合った学びや育ちの場を提供し、子どもの多様性を受け入れる地域社会を作る。			
合計			4,287,000 円 (7,455,384 円)

8. 審査後スケジュール

- (1) 助成金交付 令和5年8月1日
(2) 成果報告会 令和6年2月2日(金) きゅりあん大会議室